

2024年8月22日

報道関係各位
プレスリリース

株式会社ドリーム・アーツ

Osaka Metro、DX人材育成プロジェクト始動 ～最大5,700IDの業務デジタル化基盤 SmartDB®で挑戦～

大企業向けクラウドサービスの株式会社ドリーム・アーツ（東京本社：東京都渋谷区、広島本社：広島県広島市、代表取締役社長：山本 孝昭、以下 ドリーム・アーツ）は、このたび大阪市高速電気軌道株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：河井 英明、以下 Osaka Metro）が大企業向け業務デジタル化クラウド「SmartDB®（スマートデービー）」を導入し、SmartDB®を活用したDX人材の育成に取り組んでいることを本日発表します。

■大阪市営地下鉄から Osaka Metro への転換、民営化に伴う経営基盤強化が急務に

Osaka Metro は、大阪市内とその周辺地域における鉄道を主とする交通事業をはじめ、マーケティング事業や都市開発事業を展開する企業です。大阪市営地下鉄から 2018 年に民営化し、Osaka Metro としてスタート、経営テーマである「経営基盤強化」の実現に向け、「自主自立経営の確立」に加え「組織力の強化」「人的資本への投資」に取り組んでいます。

そのなかの「組織力の強化」においては、デジタル推進部が中心となって、全社の戦略的なデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進しています。しかし、Excel による運用が当たり前になっており非効率な業務が残留。重要なデータが散在してしまい、DX 実現に向けたデータ活用をすすめることが困難な状況でした。同時に「人的資本への投資」の一環として、上記のような業務を自らでデジタル化できる DX 人材の育成が必須でした。

Osaka Metro ではこれらを踏まえ業務部門による市民開発の実現に向けてノーコード開発基盤の導入を検討開始。複数の製品を比較検討するなかで、以下の観点を重視して SmartDB®を 2022 年 11 月に導入しました。

【SmartDB®の評価ポイント】

1. 標準機能で実現できる範囲が広くさまざまな紙・Excel 業務のデジタル化を実現できる
2. IT の専門的な知識がなくても簡単に業務アプリを開発できる
3. API が豊富で他システムとの連携が可能、将来的なデータ活用につながる

■年間 40 名の SmartDB®アプリ開発者育成を目指す DX 人材育成プロジェクト



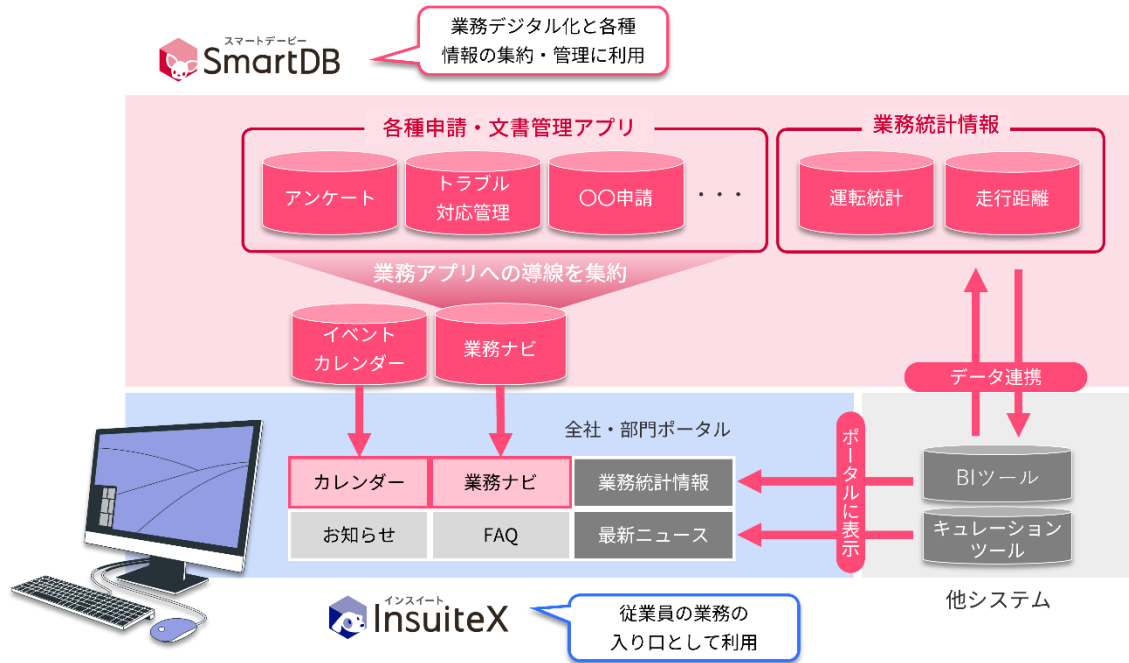
Osaka Metro では 2023 年 12 月より「DX 人材育成プログラム」を開始しています。本プログラムの大きな目的のひとつは、DX 実現に向けて各種 IT ツールを活用し継続的に業務改善できる人材の育成です。ノーコード開発プラットフォーム「**SmartDB®**」は最大 5,700ID が利用する市民開発の基盤として採用しています。

SmartDB®の活用を主体とするプロジェクトは 1 年間で 40 名のアプリ開発者を育成することを目標に掲げて開始。デジタル推進部を旗振り役に据えて各部門から参加者を募った結果、交通事業本部をはじめとする業務部門から約 20 人が集まり、ドリーム・アーツの支援のもとで定期的な勉強会や開発をおこないました。業務部門自らが「従業員アンケート実施アプリ」や「トラブル対応管理アプリ」を開発、すでに運用が始まっています。ドリーム・アーツが提唱する「デジタルの民主化」への共感のもと、デジタル推進部に頼らない業務部門主導でのデジタル化を進めています。

■ SmartDB®活用の全体像と今後の展望

SmartDB®はさまざまな業務をデジタル化する基盤としてはもちろん、各部署に共有すべき情報を集約・管理し、社内ポータルと組み合わせて適切に発信するツールとしても利用可能です。Osaka Metro は、業務部門による開発が浸透し業務アプリ数が多くなった将来を見据えて、最大 5,700ID が必要な業務アプリを探しやすくする仕組みとしても **SmartDB®**を活用。業務ナビと呼ばれるアプリを作成し、**SmartDB®**の業務アプリや他システムへのリンクとその利用用途などをあわせて管理することで、従業員がどのシステムを利用すべきか一目でわかる状態に整備しました。今後はエンタープライズ・ポータル「**InsuiteX®**（インスイートエックス）」や BI ツールとの連携も強化し、全社や部門のイベント情報をポータルに表示する、運転統計をはじめとする業務情報を BI ツールで分析するなど、オープンかつ循環的なデータ活用による経営や事業運営の進化を目指しています。

<システム全体像のイメージ>



■大阪市高速電気軌道株式会社 デジタル推進部 ICT システム課長 浦野 敦雄 氏
からのコメント

2018年、公営地下鉄で初となる民営化をおこなった Osaka Metro は、いまもなお大変革期の渦中にあります。コロナ禍をはじめとする外部環境の変化も相まって、早急な企業変革が求められています。そのなかで、新たな戦略を展開・実行するための ICT インフラ・経営システム基盤を刷新することは、今後の Osaka Metro を左右する非常に重要な取組みです。ドリーム・アーツが提供する SmartDB®ならびに InsuiteX®は、従業員の日々の業務はもちろん、全社の DX 戦略を支える基盤となるツールです。2025 年以降も未来の Osaka Metro を支えるツールとしてさらなる利用拡大を推進していきたいと思えます。

引き続き、当社の思い描く「交通を核にした生活まちづくり企業」への変革を実現するためにドリーム・アーツにご支援いただけますと幸いです。

Osaka Metro とドリーム・アーツは、今後も“協創”で「現場力強化」「企業競争力向上」の領域において、さらなるパートナーシップを育んでまいります。

SmartDB® (スマートデービー) について <https://hibiki.dreamarts.co.jp/smartdb/>

SmartDB®は、大企業市場シェア No.1^(※1) の業務デジタル化クラウドです。現場個別の業務から全社横断業務までノーコードで開発可能。ワークフローと Web データベースを中心に多彩な機能を持ち、柔軟な外部システム連携、きめ細かな権限管理、高度なセキュリティ要件にも対応しています。三菱 UFJ 銀行や大和ハウス工業、立命館大学など、大企業を中心にあらゆる業種業態のお客さまが利用中です。サービス基盤としてマイクロソフトが提供するクラウドプラットフォーム「Microsoft Azure」を採用し、利用規模の変化やコンテンツの増加にも柔軟に対応できる環境を実現しています。

※1 テクノ・システム・リサーチ「2023 年 SaaS 型ワークフロー市場メーカーシェア調査」より

株式会社ドリーム・アーツについて <https://www.dreamarts.co.jp/>

1996 年 12 月に設立されたドリーム・アーツは「協創する喜びにあふれる人と組織と社会の発展に貢献する」をコーポレート・ミッションに、「情報共有」と「対話」を重視した独創的かつ高品質なソリューションとサービスを提供します。「協創力を究めよ」のスローガンのもと、ICT だけでも人間だけでもできないビジネス上の難題の解決を ICT と「協創」でお手伝いしています。大企業向け業務デジタル化クラウド SmartDB®、多店舗オペレーション改革を支援する「Shopらん® (ショッピングラン)」、大企業の働き方を変えるビジネスコックピット「InsuiteX® (インスイートエックス)」などのクラウドサービスを開発・提供しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ドリーム・アーツ

〒150-6029 東京都渋谷区恵比寿 4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー29F

広報担当 佐藤

TEL : 03-5475-2501 / 080-7023-7602 E-mail : pr@dreamarts.co.jp

記載されている会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。

©2024 DreamArts Corporation.